

(3) 単位の認定および成績評価

授業科目の履修単位は、筆記試験、口述試験、またはレポートにより認定を行います。

- ① 担当教員が必要に応じて適宜、試験を実施することとなっていますが、科目によっては試験時間割を編成して実施することもあるので、履修者は教員の指示に注意してください。
- ② 学部の授業科目を履修している者は、試験時間割、その他学部の掲示に注意してください。
- ③ 口述試験又はレポートにより単位認定を行う授業科目については、必要に応じてその都度掲示するので注意してください。
- ④ 各授業科目の成績は、A + ・ A ・ B ・ C ・ F の5種とし、A + ・ A ・ B ・ C を合格とします。

※ただし「日本語教育実習A・B」及び「日本語アカデミックライティング」「日本語学術論文作成技術」はP（合格）またはF（不合格）での評価とします。

⑤ G P Aについて

G P Aとは、Grade Point Averageの略で、学業結果を総合的に判断する指標となるものです。G P Aは、個々の履修登録科目のG P（Grade Point）にその科目の単位数をかけ、その総和を履修登録科目の総単位数で割ることにより算出します。「F」評価（不合格）の科目は、GPA計算時の対象とします。ただし、認定科目（「P」／「F」評価の科目）は、算出対象外とします。

※GPAの算出は、2021年度入学者から行います。

【成績評価基準およびGPA算出基準】

評点	評 価	GPA	合 否
100～90点	A +	4.0	合 格
89～80点	A	3.0	
79～70点	B	2.0	
69～60点	C	1.0	
(認 定)	P	—	
59～0点	F	0	不 合 格

(4) 修士論文・修士研究報告評価基準

修士論文

- 1 明確な問題意識に基づきテーマが設定されていること
- 2 構成が適切に組み立てられ、論旨が明快であり、明瞭でわかりやすい文章で書かれていること
- 3 当該分野の研究を十分に理解し、適切な検討を加えていること
- 4 適切な方法で研究資料を収集し的確な分析・考察がなされていること
- 5 学術的な独創性・重要性があること
- 6 研究者としての研究倫理を身につけていること

修士研究報告

- 1 明確な問題意識に基づきテーマが設定されていること
- 2 構成が適切に組み立てられ、論旨が明快であり、明瞭でわかりやすい文章で書かれていること
- 3 当該分野の研究を十分に理解していること
- 4 研究者としての研究倫理を身につけていること

《博士論文》 見本

和文 表紙

論文題目
神田外語大学 言語科学研究科博士後期課程
提出年月日
提出者氏名

中表紙

論文題目
神田外語大学 言語科学研究科博士後期課程
提出年月日
提出者氏名
論文指導教授氏名

英文 表紙

Title
Author
Date of Submission
Graduate School of Language Sciences
Kanda University of International Studies

中表紙

Title
Author
Date of Submission
Graduate School of Language Sciences
Kanda University of International Studies
Thesis Supervisor

3. 博士論文評価基準

- 1 明確な問題意識に基づきテーマが設定されていること
- 2 構成が適切に組み立てられ、論旨が明快であり、明晰でわかりやすい文章で書かれていること
- 3 当該分野の研究を十分に理解し、適切な評価を下していること
- 4 適切な方法で研究資料を収集し的確な分析・考察がなされていること
- 5 研究者としての研究倫理を身につけていること
- 6 専門分野における十分な知識を有していることが示されていること
- 7 自立して研究を遂行できる能力を示していること
- 8 学術水準や学際的観点から見て、十分な独創性や重要性があり、学術的・社会的な要請にも応えるものであること

4. 語学能力試験

学生は入学試験で選択した言語以外の1言語の語学能力試験に合格しなければなりません。入学試験を英語で受験した場合および母語が英語の場合は、以下の（ ）内の言語の中から母語以外の言語を選択し受験してください。日本語で受験した場合は英語を受験して下さい。なお、語学能力試験で求められる外国語の能力とは、当該専門分野の研究論文を、辞書を用いて理解できる程度の能力とします。

(日本語・中国語・韓国語・スペイン語・ブラジルポルトガル語・タイ語・ベトナム語・インドネシア語・フランス語・ドイツ語)